

平成23年10月21日



研究だより

第29号

自治医科大学附属さいたま医療センター

「ふりかけ実験だね」

—私のターニングポイント：省察的内科医としての総合医へ—



総合診療科 准教授 菅原 斉

総合診療科の医師が、「何故、『研究だより』の巻頭言なのか?」と考えられる皆様もおられるでしょう。しかし、折角いただいた機会なので、昔話を記録しておきたいと思います。

今から20年前、インターネットも電子メールもまだ普及していない頃のお話です。私は、稚内市立病院内科（1年間）、北海道立ウトロ診療所（2年間）の勤務を終え、卒後6年目からの後期研修（2年間）のために、旭川医科大学第1内科に戻りました。このころは、Physician Scientist（研究をおこなう臨床医）を育てようとする大学医局が大半であったと思います。同じ医局の自治医大卒の先輩のお2人も、後期研修終了時には、博士論文をほぼ書き上げていました。私は、このような方向性に何の疑いもなく、ただ、先輩の後に従っていきたくて思っていました。先輩からの助言は、「少なくとも3つの研究課題を同時に進めるように」でした。私は、その助言に従って、①肥大型心筋症の心筋生検パラフィン包埋切片からミオシン重鎖の遺伝子異常の有無についてPCRを用いて解析すること、②Sprague-Dawley rat（SDラット）とストレプトゾドシン誘発糖尿病SDラットとの心筋細胞膜の酸化作用の違いを明らかにすること、③SDラットの心筋細胞膜を用いて各種心血管系作動薬の抗酸化作用の有無を明らかにすること、を3つの課題にしました。これらのテーマを決めるまでに、6ヶ月くらいを要しました。2年後には利尻島での勤務が待っていましたので、臨床研修とは別に、平日は深夜まで、土日もなく実験しました。結果的に、①は日本内科学会総会での発表で終了、②は「医学のあゆみ」に掲載、③は後に「Biochemical Pharmacology」と「Hypertension

Research」に掲載されました。

しかし、私は、利尻島赴任当初に、急性髄膜脳炎で入院してしまいました。その時は、さいたま医療センターのご好意により3ヶ月間に渡って医師を派遣していただき、大変お世話になりました。お陰様で、2年間の利尻島国保中央病院での勤務を終え、自治医大の9年間の義務年限も全うできました。地域医療にやや疲れてきていたこと、また、細胞内シグナル伝達や分子生物学という言葉に対する強い憧れもあり、縁あってYale大学医学部BCMMのPostdoctoral Fellowとして、Jordan S. Pober教授と共同研究をされていた黒崎知博先生（現在、大阪大学免疫学フロンティア研究センター教授）の元に留学しました。1994年7月のことです。

研究室はYale大学のConnecticut州New Havenではなく、New York州Pearl Riverに広大な敷地を有するLederle Laboratoriesの中にありました。黒崎先生のご専門は、Bリンパ球の免疫機構の解明でした。研究室では、DT40というChickenのBリンパ球細胞系（相同組み換えを高頻度で起こす特徴がある。）で、シグナル伝達物質のLyn、Syk、PLC γ 、Bcl-2などを系統的に遺伝子ターゲティングでノックアウトし、BCR刺激による細胞内カルシウム動態を検討していました。私に与えられたテーマは、御子柴克彦博士が1989年に発見されていたイノシトール3リン酸受容体（IP $_3$ R）と免疫抑制薬の標的であるカルシニューリンをDT40でノックアウトすることでした。御子柴先生からいただいたラットIP $_3$ R遺伝子の一部を用いて、DT40のcDNAライブラリー、ゲノムDNAライブラリーを順にスクリーニングし、3つのタイプの

IP₃R ゲノム DNA の一部分を得ることができました。最初に、Type1 IP₃R 遺伝子をノックアウトするため、ゲノム DNA のエクソンの一部を薬剤抵抗性マーカー遺伝子で置換するようにノックアウトコンストラクト DNA をデザインしました。1つの遺伝子のゲノム遺伝子は1対で2本あるので、ノックアウトするには、別の薬剤抵抗性マーカー遺伝子に入れ替えたノックアウトコンストラクト DNA が2種類必要です。1年を経て、Type1 IP₃R のノックアウトに成功しましたが、細胞内のカルシウム動態には、全く変化はありませんでした。ここで、カルシニューリンのノックアウトに変更するべきか、Type2 と Type3の IP₃R のノックアウトを続けるべきかを悩みました。結果的に、Type1 + Type2 IP₃R 遺伝子ダブルノックアウト、Type2 + Type3 IP₃R 遺伝子ダブルノックアウト、Type1 + Type2 + Type3 IP₃R 遺伝子トリプルノックアウトの DT40を作成しました。トリプルノックアウトを作成するには、6種類の異なる薬剤抵抗性マーカー遺伝子で置換したノックアウトコンストラクト DNA をデザインする必要がありました。細胞内のカルシウム濃度上昇は、IP₃R のトリプルノックアウトだけで、全く起こらなくなりました。IP₃R には、3つの Type による Redundancy (冗長性) のあることがわかりました。このことは、後に「The EMBO Journal」に掲載されました。研究室の先輩に、高田 穰先生（現在、京都大学放射線生物研究センター晩発効果研究部門教授）がいらっしゃり、分子生物学の基礎から、実験の手ほどきや理論の説明を親切にしてくださいました。また、柳 茂先生（現在、東京薬科大学生命科学部分子生命科学科教授）とも、短期間一緒に研究しました。

ある時、黒崎先生のお部屋に呼ばれました。何故か、この場面は鮮明に覚えています。先生は、私に日本でどのような論文を書いてきたのかを尋ねられました。「ラットの心筋細胞膜を用いて各種心血管系作動薬の抗酸化作用を研究しました。」とお答えしたと思います。先生は、「それは、『ふりかけ実験』だね。『サイエンス』ではないね。基礎研究は『サイエンス』なんだよ。」といわれました。先生は、常々、『サイエンス』を好んで使われていました。真理追求のための実験という意味なのだと思います。黒崎先生からのこ

の言葉が、私の基礎研究から臨床復帰へのターニングポイントでした。そして、私は、患者さんの身体的、医学的真理に留まらず、できる限り心理的、社会的真理も診ていける総合医になりたいと考え、さいたま医療センターに参りました。

総合医の本質として「省察（せいさつ）」が、今、注目されています。「慣れ親しんだ領域（Zone of mastery）」の診療では対処できないような未経験の事例が生じたとき、私たちは、自己学習・カンファレンス・コンサルテーションを通じて、その場を何とか乗り切ります（行為の中の省察）。そして、その一連の経験で良かった点をカンファレンスや学会などで発表します（行為に基づく省察）。最後に、この未経験の事例を乗り切るために得た教訓などを論文や臨床カル・パルに記載することによって、自分たちの「慣れ親しんだ領域（Zone of mastery）」を拡大し（行為のための省察）、次の診療にあたります。このように、患者さんに起因する様々な未経験の問題点の省察（Patient's problems oriented reflection）を繰り返すことによって成長していくのが、省察的内科医としての総合医です。日常の診療に流されてしまうと、「行為のための省察」を実行していくことは、とても難しいものです。私は、「行為のための省察」を継続していくためには、症例報告の執筆や病理解剖の経験などの地道で堅実な努力を積み重ねることがとても重要であり、延いては患者さんの真理を診ていくことにも通じるのではないかと考えています。

研究室だより

センター長

川上 正舒

センター長は6月10日、11日に京都テルクで開催された第29回日本肥満症治療学会学術集会で副会長を務めた。第30回の学術集会は会長として来年6月29日、30日に東京一ツ橋の学術総合センターで開催することが決定している。また、日本糖尿病合併症学会学術集会の会長として本年10月14日、15日に大宮ソニックシティで第26回の学術集会を開催する。

研究の成果

総合医学 1

■ 総合診療科

論文

- 1) 渡辺珠美, 菅原 斉, 松林洋志, 石井 彰, 青木厚, 牛丸信也, 野首光弘, 西田淳二, 吉田行雄, 川上正舒: メトロニダゾールに対する副反応のためにチニダゾールで治療し得た後天性免疫不全症候群に併発したアメーバ性大腸炎の1例. 自治医科大学紀要33: 147-153, 2010
- 2) 石井 彰, 菅原 斉, 渡辺珠美, 吉川修平, 田代研, 石岡春彦, 深津 健, 大沼 哲, 牛木真理子, 讚井将満, 川上正舒: 糖尿病性ケトーシスを契機に急性リチウム中毒に至った双極性うつ病の一例. 自治医科大学紀要33: 141-145, 2010
- 3) 菅原 斉, 石井 彰, 渡辺珠美, 松林洋志, 青木厚, 松本葉子, 加計正文, 百村伸一, 川上正舒: 自治医科大学附属さいたま医療センターにおける見学生の短期的研修動向に影響する背景要因の検討—ロジスティック回帰分析を用いて—. 自治医科大学紀要33: 183-190, 2010

学会発表

- 1) 矢部寛樹, 石井 彰, 新川尚子, 松林洋志, 加計正文, 川上正舒, 菅原 斉: ワーファリン内服中に頸椎硬膜外血腫を発症した高齢者の1例. 第53回日本老年医学会関東甲信越地方会, 東京, 2011年6月11日 (第53回日本老年医学会関東甲信越地方会抄録集: 11, 2010)
- 2) 松林洋志, 菅原 斉, 石井 彰, 渡辺珠美, 青木厚, 松本葉子, 加計正文, 百村伸一, 川上正舒: 見学生の短期的研修動向に影響する背景要因の検討. 第2回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 札幌. 2011年7月3日 (第2回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会プログラム・抄録集: O-076, 2011)
- 3) 渡辺珠美, 菅原 斉, 松林洋志, 原 真理子, 石井 彰, 加計正文, 植木 彰, 川上正舒: 複視の程度を患者自身が半定量的に評価した右副鼻腔炎による右滑車神経麻痺の1例. 第2回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 札幌. 2011年7月2日 (第2回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会プログラム・抄録集: D-048, 2011)
- 4) 石井 彰, 山本真吾, 西村瑠里, 松林洋志, 渡辺

珠美, 菅原 斉, 加計正文, 川上正舒, 野首光弘, 大和志保: 緩和ケアについて省察した血管内肉腫の1剖検例. 第2回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 札幌. 2011年7月2日 (第2回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会プログラム・抄録集: D-030, 2011)

その他

- 1) 菅原 斉: かかりつけ医 (主治医) の必要性. 60歳からの健康づくり—シニアの快適な生活実現のために—. p20-p23, 財団法人地方公務員等ライフプラン協会, 東京, 2010
- 2) 菅原 斉: ミニ診療室—耳慣れない感染症. でも, 予防が大切な「パストレラ」と「ビブリオ・バルニフィカス」—. 月刊 災害補償 524: 41-42, 2011
- 3) 菅原 斉: 利尻島国保中央病院での思い出. 利尻島国保中央病院25年のあゆみ. Pp24-25, 利尻島国保中央病院25周年記念誌編集委員会, 2011年2月

■ 消化器科

[1] 学会、講演会 (2011年6月～8月)

- 1) 福西昌徳, 宮谷博幸, 大竹はるか, 吉川修平, 新藤雄司, 池谷 敬, 池田正俊, 東海浩一, 牛丸信也, 松本吏弘, 浅野岳晴, 高松 徹, 岩城孝明, 鷺原規喜, 浅部伸一, 吉田行雄: 内視鏡的バルーン拡張術が有効であった輪状瘻の関与が考えられる十二指腸狭窄の1例. 第92回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 2011.6.10～11, 東京
- 2) 松本吏弘, 大竹はるか, 吉川修平, 上原健志, 新藤雄司, 池谷 敬, 池田正俊, 東海浩一, 牛丸信也, 浅野岳晴, 高松 徹, 岩城孝明, 福西昌徳, 鷺原規喜, 浅部伸一, 宮谷博幸, 吉田行雄, 山田茂樹: 上皮性腫瘍様の形態を呈し, EMRにより確定診断が得られた若年発症の粘膜下異所性胃腺の1例. 第92回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 2011.6.10～11, 東京
- 3) 大竹はるか, 岩城孝明, 新藤雄司, 池谷 敬, 東海浩一, 池田正俊, 牛丸信也, 浅野岳晴, 松本吏弘, 高松 徹, 福西昌徳, 鷺原規喜, 浅部伸一, 宮谷博幸, 吉田行雄, 佐々木純一, 岡田晋一郎, 小西文雄, 土橋 洋, 山田茂樹: 診断に苦慮した印環細胞癌主体の4型大腸癌の1例. 第92回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 2011.6.10～11, 東京

- 4) 宮谷博幸, 福西昌徳, 岩城孝明, 大竹はるか, 吉川修平, 新藤雄司, 上原健志, 池谷 敬, 山中健一, 池田正俊, 牛丸信也, 松本吏弘, 浅野岳晴, 高松 徹, 鷺原規喜, 浅部伸一, 吉田行雄, 山田茂樹: 当センターにおける十二指腸乳頭切除術症例の検討. 第81回日本消化器内視鏡学会総会. 2011.8.17~19, 名古屋

[2] 原著その他論文 (2011年6月~8月)

- 1) 福西昌徳, 宮谷博幸, 大竹はるか, 吉川修平, 新藤雄司, 池谷 敬, 池田正俊, 東海浩一, 牛丸信也, 松本吏弘, 浅野岳晴, 高松 徹, 岩城孝明, 鷺原規喜, 浅部伸一, 吉田行雄: 内視鏡的バルーン拡張術および H. pylori 除菌療法により治癒しえた Plummer-Vinson 症候群の 1 例. Progress of Digestive Endosc 78 : 84-85, 2011

■ 呼吸器科

平成23年7月~23年12月

著書、総説

- 1) Dobashi Y, Watanabe Y, Miwa C, Suzuki S, Koyama S. Mammalian target of rapamycin : a central node of complex signaling cascades. Int J Clin Exp Pathol 2011,4 (5) : 476-495

学会・地方会・研究会発表

- 1) T. Kasai¹, K. Mori¹, K. Kobayashi², K. Komiyama², S. Minezaki², Y. Uchida², E. Hoshi², S. Koyama², K. Eguchi², M. Nakayama², K. Kikuchi². Phase I / II trial of S-1 plus Docetaxel (DTX) for previously treated advanced non-small cell lung cancer (NSCLC) : Kanto Respiratory Disease Study Group. 14th World conference on lung cancer. 2011/07/3-7 Netherlands
- 2) 手塚憲志, 金井義彦, 柴野智哉, 白石 守, 三輪千尋, 渡辺恭孝, 小山信一郎, 遠藤俊輔, 光田清佳, 中野智之, 遠藤哲哉, 手塚康裕, 大谷真一, 山本真一, 長谷川 剛。当科における気管分岐部切除術の工夫。第34回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2011/06/16-17、浜松 S132
- 3) 渡辺恭孝, 白石 守, 工藤史明, 野村基子, 三輪千尋, 金井義彦, 手塚憲志, 遠藤俊輔, 小山信一郎。胸腔鏡下肺生検を施行したシェーグレン症候群合併肺病変症例の検討。第34回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2011/06/16-17、浜松 S171
- 4) 手塚憲志, 金井義彦, 白石 守, 三輪千尋, 渡辺恭孝, 遠藤俊輔, 小山信一郎, 光田清佳, 中野智之, 遠藤哲哉, 手塚康裕, 大谷真一, 山本真一,

長谷川 剛。左肺底区動脈奇肢症に対する完全胸腔鏡下底区域切除術の1例。第34回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2011/06/16-17、浜松 S208

- 5) 岩井悠希, 渡辺恭孝, 野村基子, 工藤史明, 白石 守, 三輪千尋, 手塚憲志, 野首光弘, 小山信一郎。IgG4関連疾患に合併した間質性肺疾患の一例。第195回日本呼吸器学会関東地方会 2011/07/16 東京
- 6) 野村基子, 渡辺恭孝, 三輪千尋, 白石 守, 工藤史明, 小山信一郎, 塩塚潤二, 船山 大。ECMO を使用し救命したインフルエンザ (H1N1) 2009肺炎の1例、第3回埼玉インフルエンザ研究会 2011/09/01 さいたま

研究会、講演会等

- 1) 小山信一郎。第38回埼玉喘息・アレルギー研究会 さいたま 2011/08/27
- 2) 小山信一郎。第16回3学会合同呼吸療法認定士認定講習会 東京 2011/09/02 講師
- 3) 小山信一郎。呼吸器感染症ワクチン研究会2011 東京 2011/09/03

■ 内分泌代謝科

平成23年6月から9月の内分泌代謝科の研究活動ですが、夏期シーズンは学会の少ない時期です。今回はこの紙面をかりて研究会での講演も示すことにいたします。

学会発表

- 1) Aoki A, Murata M, Asano T, Sasaki M, Ikoma A, Kawakami M, Ishikawa S : Exercise-induced increases in serum retinol-binding protein 4 and endothelial progenitor cells in diabetic subjects. 2011 Annual Meeting of The Endocrine Society, June 4-7, 2011, Boston, MA
- 2) Murata M, Aoki A, Asano T, Ikoma A, Sasaki M, Kawakami M, Ishikawa S : Close association of serum fibroblast growth factor (FGF) 23, but not 25-hydroxyvitamin D3, with diabetic nephropathy in type 2 diabetic subjects. 2011 Annual Meeting of The Endocrine Society, June 4-7, 2011, Boston, MA
- 3) 青木 厚, 吉田昌史, 浅野智子, 村田美保, 佐々木正美, 齊藤智之, 生駒亜希, 豊島秀男, 加計正文, 川上正舒, 石川三衛 : 2型糖尿病における運動負荷による血清RBP4および血管内皮前駆細胞 (EPC) の反応性 第54回日本腎臓学会総会

- 2011年6月15-17日, 横浜市
- 4) 村田美保、青木 厚、吉田昌史、浅野智子、木本瑞穂、斉藤智之、生駒亜希、佐々木正美、豊島秀男、川上正舒、石川三衛：糖尿病性腎症における血清 FGF23と25 (OH) ビタミン D3 第54回日本腎臓学会総会 2011年6月15-17日, 横浜市
 - 5) 金内則子、茂木さつき、平井啓之、森 穂波、石川三衛、川上正舒：栄養指導の継続で20kgの減量を維持できているプラダークウィリ症候群の1例 第3回日本肥満治療学会 2011年6月10-11日 京都市
 - 6) 石川三衛：セミナー「水利尿不全とバソプレシン受容体拮抗薬」第41回日本腎臓学会西部学術大会 2011年9月30日-10月1日、徳島市

その他

講演

- 1) 佐々木正美：ビルダグリプチンの使用経験 第3回埼玉糖尿病先進治療研究会 2011年5月28日 さいたま市
- 2) 佐々木正美：入院での糖尿病治療：強化インスリン療法によるインスリン導入 Insulin Medical Tribune Forum 2011 2011年7月16日 東京都
- 3) 佐々木正美：糖尿病治療におけるDPP-4阻害薬の位置付け-ビルダグリプチンの使用経験を含む上尾医師会講演会 2011年6月22日 上尾市
- 4) 佐々木正美：糖尿病治療におけるDPP-4阻害薬：ビルダグリプチンの使用経験 越谷医師会講演会 2011年8月26日 越谷市
- 5) 石川三衛：アルギニンバソプレシンによる水代謝調節とその異常 心不全と体液管理学術講演会 2011年2月9日 奈良県橿原市
- 6) 石川三衛：新しい利尿-水利尿を考える(パネルディスカッション) サムスカ発売記念講演会 2011年2月19日 東京都
- 7) 石川三衛：下垂体副腎系の機能異常の臨床 第391回福山内科医会学術講演会 2011年4月14日 福山市
- 8) 石川三衛：心不全増悪要因としてバソプレシン 慶応大学循環器内科講演会 2011年4月26日 東京都
- 9) 石川三衛：バソプレシンによる水代謝異常とその病態生理 大分サムスカ講演会 2011年4月27日 大分市
- 10) 石川三衛：心不全とバソプレシン Tokyo Tolvaptan Forum 2011 2011年7月16日 東京都新宿区
- 11) 石川三衛：水利尿不全とバソプレシン-アクアポ

- リン2連関 第1回北陸AVP研究会 2011年9月2日 金沢市
- 12) 石川三衛：水代謝の異常とバソプレシン 第100回東京腎生理集談会 2011年9月10日 東京都千代田区
 - 13) 石川三衛：水利尿不全とバソプレシン 東京大学腎内分泌科レサーチカンファランス 2011年9月13日 東京都文京区
 - 14) 石川三衛：低ナトリウム血症の診療におけるホルモン分泌異常 奈良間脳下垂体研究会 2011年9月29日 奈良市

■ アレルギーリウマチ科

2011年8月まで

原著論文

- 1) Yabe H, Tsukahara T, Kawaguchi S, Wada T, Torigoe T, Sato N, Terai C, Aoki M, Hirose S, Morioka H, Yabe H. Prognostic Significance of HLA Class I Expression in Ewing's Sarcoma Family of Tumors. *J Surgical Oncology* 103 : 380-385, 2011
- 2) Yabe H, Ueno H, Ochi K, Morioka H, Yabe H, Terai C. Possible clinical significance of serum soluble interleukin-2 receptor level in primary bone lymphoma : Two case reports. *Case Reports in Oncology* 4 : 125-31, 2011
- 3) Wada H, Terasako K, Kamiya Y, Sato M, Kimura SI, Okuda S, Kako S, Yamazaki R, Oshima K, Nishida J, Moriguchi M, Terai C, Kanda Y. Immune recovery after autologous PBSC transplantation without in vitro graft manipulation for refractory systemic lupus erythematosus. *Bone Marrow Transplant.* 2011 Jan 17. [Epub ahead of print]
- 4) Sakurai N, Kuroiwa T, Kayakabe K, Matsumoto T, Maeshima A, Hiromura K, Nojima Y. Insulin-like growth factor binding protein-related protein 1 is expressed in rheumatoid synovium and regulates synovial fibroblast proliferation. *Mod Rheumatol.* 21 : 63-72. 2011
- 5) Takahashi S, Hiromura K, Sakurai N, Matsumoto T, Ikeuchi H, Maeshima A, Kaneko Y, Kuroiwa T, Nojima Y. Efficacy and safety of tacrolimus for induction therapy in patients with active lupus nephritis. *Mod Rheumatol.* 21 : 282-9. 2011
- 6) 千葉英美子、小田 彩、堤 智美、矢部寛樹、神谷百合香、桜井 正、森口正人、百村伸一、

- 寺井千尋. インフリキシマブ投与が著効した Multicentric reticulohistiocytosis の1例. 日本内科学会誌 100: 483-6, 2011
- 7) 中島亜矢子, 寺井千尋, 山中 寿. 関節リウマチ患者から学ぶ関節診察法実習の効果. 医学教育 42: 149-152, 2011
- 8) 小松研郎, 矢部寛樹, 小柳貴裕: 大腿骨転子部骨折術後に発症した巨大仮性動脈瘤の1例. 神奈川整形災害外科研究会雑誌23 (4): 103-106, 2011
- 9) 小松研郎, 矢部寛樹, 小柳貴裕, 松谷哲行, 中野泰, 西尾和三: 関節リウマチ患者に発生した転移性結核膿瘍の1例. 日本外科系連合学会誌36 (2): 238-244, 2011

学会発表

- 1) 寺井千尋. 痛風研究に関する最近の話題. 第44回日本痛風・核酸代謝学会総会 シンポジウム 2011.2.17 東京
- 2) 矢部寛樹, 石井 彰, 新川尚子, 松林洋志, 加計正文, 川上正舒, 菅原 斉: ワーファリン内服中に頸椎硬膜外血腫を発症した高齢者の1例. 第53回日本老年医学会関東甲信越地方会, 2011.6.11 東京
- 3) 池内秀和, 廣村桂樹, 高橋哲史, 月田真祐子, 内山和彦, 櫻井則之, 坂入 徹, 前嶋明人, 黒岩卓, 野島美久. ループス腎炎の寛解導入における、タクロリムス (TAC) とミコフェノール酸モフェチル (MMF) の併用療法の試み. 第54回日本腎臓学会 2011.6.15-16
- 4) 矢部寛樹, 森口正人, 桜井 正, 堤 智美, 野中彩, 矢吹 拓, 大島久二, 越智健介, 小柳貴裕, 堀内行雄, 寺井千尋. SAPHO 症候群における治療法の検討. 第55回日本リウマチ学会総会・学術集会 2011.7.19 神戸
- 5) 野中 彩, 堤 智美, 矢部寛樹, 桜井 正, 森口正人, 寺井千尋. 悪性腫瘍合併筋炎では悪性腫瘍治療が筋炎を改善し必要ステロイド量を削減する. 第55回日本リウマチ学会総会・学術集会 2011.7.20 神戸
- 6) 加家壁 健, 黒岩 卓, 櫻井則之, 池内秀和, 坂入 徹, 前嶋明人, 廣村桂樹, 野島義久. RA において IL-6 はアンジオポエチン発現調節を介して病的血管新生を促進する. 第55回日本リウマチ学会 2011.7.18-20 神戸
- 7) 櫻井則之, 月田真祐子, 梅元あずさ, 加家壁 健, 坂入 徹, 池内秀和, 前嶋明人, 黒岩 卓, 廣村桂樹, 野島義久. Rituximab を投与した難治性 Wegener 肉芽腫症 4 例の臨床的検討. 第55回日本リウマチ学会 2011.7.18-20 神戸
- 8) 月田真祐子, 梅元あずさ, 内山和彦, 櫻井則之, 池内秀和, 坂入 徹, 前嶋明人, 黒岩 卓, 廣村桂樹, 野島義久. 脊椎関節炎診断における FDG-PET および骨盤 MRI の有用性. 第55回日本リウマチ学会 2011.7.18-20 神戸
- 9) 池内秀和, 櫻井則之, 加家壁 健, 前嶋明人, 坂入 徹, 黒岩 卓, 廣村桂樹, 野島義久. CXCL16 の形質細胞様樹状細胞における役割. 第55回日本リウマチ学会 2011.7.18-20 神戸
- 10) 加家壁 健, 黒岩 卓, 櫻井則之, 池内秀和, 坂入 徹, 前嶋明人, 廣村桂樹, 野島義久. 生物学的製剤の効果予測における全血培養中の炎症性サイトカイン測定の有用性. 第55回日本リウマチ学会 2011.7.18-20 神戸
- 11) 矢部寛樹, 塚原智英, 川口 哲, 和田卓郎, 鳥越俊彦, 佐藤昇志, 黒岩 卓, 寺井千尋, 青木正哉, 廣瀬茂道, 森岡秀夫, 矢部啓夫, 福澤龍二. Ewing 肉腫ファミリー腫瘍 (ESFT) における HLAclass I 発現と CD8+T リンパ球浸潤の検討. 第39回日本臨床免疫学会総会 東京 2011.9.15
- 12) 黒岩 卓, 平松範行, 加家壁 健, 桜井則之, 池内秀和, 前嶋明人, 廣村桂樹, 寺井千尋, 野島美久. ループス腎炎の新分類と治療成績. 第39回日本臨床免疫学会総会 東京 2011.9.17

研究会発表

- 1) 吉崎和幸, 山田正仁, 池田修一, 安藤由喜雄, 寺井千尋ら. AA アミロイドーシスのトシリズマブによる治療研究 5 AA アミロイドーシス臨床研究会による治療継続. アミロイドーシスに関する調査研究班 平成22年度研究報告会 2011.1.28
- 2) 工藤幸司, 福田絵美子, 岡村信行, 寺井千尋, 吉崎和幸, 山田正仁ら. アミロイドーシス特有の病理増を認識するプローブの探索 (5). アミロイドーシスに関する調査研究班 平成22年度研究報告会 2011.1.27
- 3) 野中 彩, 堤 智美, 矢部寛樹, 桜井 正, 黒岩卓, 寺井千尋. 間質性肺炎との鑑別が困難な Branhamella catarrhalis 肺炎を合併した多発性筋炎の一部検例. 第52回関東リウマチ研究会 東京 2011.6.18
- 4) 野中 彩, 堤 智美, 矢部寛樹, 桜井 正, 黒岩卓, 寺井千尋. 当科で経験した悪性腫瘍合併皮膚筋炎10例の臨床的検討. 第57回埼玉リウマチ研究会 さいたま 2011.7.1

著書総説

- 1) 寺井千尋. 整形外科医のためのRAの評価と鑑別診断・合併症の基礎知識-R Aを正しく評価し、合併症を早く見出す- 腎機能障害. *Bone Joint Nerve* 1 : 62-68, 2011
- 2) 黒岩 卓: 膠原病における適応外薬の現状とその使用法 ミコフェノール酸モフェチル (SLE、血管炎症候群) リウマチ科45 : 29-34, 2011
- 3) 黒岩 卓, 野島義久: ループス腎炎の尿中バイオマーカー リウマチ科45 : 248-253, 2011

学会運営

- 1) 寺井千尋. 総会会長 第44回日本痛風核酸代謝学会総会 東京 京王プラザホテル 2011.2.17-18

講演・その他

- 1) 寺井千尋. リウマチ医に必要な膠原病の知識. 埼玉地区リウマチ教育研修会 さいたま 2011.1.23
- 2) 寺井千尋. ジャーナルクラブ2 編紹介 分子リウマチ 4 : 106, 2011.
- 3) 寺井千尋. 痛風の昔と今 痛風の予防と治療の最前線 第44回日本痛風核酸代謝学会総会 市民公開講座 東京 2011.2.19
- 4) 寺井千尋. 第44回日本痛風核酸代謝学会総会のトピック紹介 *Medical Tribune* 44 (19) : 26-27, 2011 2011年5月12日号
- 5) 寺井千尋. ラジオ放送 TBSラジオ 「明日も元気」にて「関節リウマチの最新事情」、2011年5月23~27日午後3時40-50分 5回連続
- 6) 寺井千尋. 近況近影「Astellas Square」7 (3) : 26, 2011
- 7) 寺井千尋. 最新の痛風治療. 宇都宮市医師会学術講演会 宇都宮 2011.6.9
- 8) 寺井千尋. T2T (Treat to Target) Invitativeの背景と日本における展開に向けて. 埼玉県GOAL研究会 さいたま 2011.7.7
- 9) 寺井千尋. 夏を元気に過ごすために「高齢者の熱中症対策」. サクラビ健康講話 東京 2011.7.9
- 10) 寺井千尋. リウマチに関する新知見. 蕨・戸田医師会学術講演会 戸田 2011.7.13
- 11) 寺井千尋. 痛風・尿酸結晶の新しい治療. 第237回病院薬学研修会 (埼玉県病院薬剤師会) さいたま 2011.7.21
- 12) 寺井千尋. 関節リウマチ診療における腎障害とその対策. 京整会 RA 懇話会 京都 2011.7.23
- 13) 黒岩 卓: 生物学的製剤と抗リウマチ薬: 有効性と安全性について. 群馬リウマチ友の会 群馬県社会福祉総合センター 2011.4.10

- 14) 黒岩 卓: 関節リウマチの病態と治療: 寛解を達成する為の治療戦略. RA 病診連携の会 パレスホテル大宮 2011.6.16
- 15) 黒岩 卓: 関節リウマチ患者に対する最適なトシリズマブ治療の検討. さいたまアクテムラカンファランス ラフレさいたま 2011.6.22
- 16) 黒岩 卓: 関節リウマチに伴う腎障害. 群馬リウマチアカデミー 高崎メトロポリタンホテル 2011.7.16

■ 病理部

(原著論文)

- 1) Dobashi, Y., Suzuki, S., Kimura, M., Matsubara, H., Tsubochi, H., Imoto, I. and Ooi, A. Paradigm of kinase-driven pathway downstream of EGFR/Akt in human lung carcinomas. *Hum. Pathol.* 42 (2) : 214-26, 2011.
- 2) Suzuki, S., Dobashi, Y., Hatakeyama, Y., Tajiri, R., Fujimura, T., Heldin, C. H. and Ooi, A. Clinicopathological significance of platelet-derived growth factor (PDGF) -B and vascular endothelial growth factor-A expression, PDGF receptor- β phosphorylation, and microvessel density in gastric cancer. *BMC Cancer.* 10 : 659, 2010.
- 3) Setsu, N., Yamamoto, H., Kohashi, K., Endo, M., Matsuda, S., Yokoyama, R., Nishiyama, K., Iwamoto, Y., Dobashi, Y., Oda, Y. The Akt/Mammalian Target of Rapamycin Pathway Is Activated and Associated With Adverse Prognosis in Soft Tissue Leiomyosarcomas. *Cancer.* In press.

(著書・総説)

- 1) Dobashi, Y., Koyama, S., Kanai, Y., and Tetsuka, K. Kinase-driven pathways downstream of EGFR in human lung carcinomas : perspectives on molecular targeting therapy. *Front Biosci.* 16 : 1714-32, 2011.
- 2) Dobashi, Y., Watanabe, Y., Miwa, C., Suzuki, S. and Koyama, S. Mammalian target of rapamycin : a central node of complex signaling cascades. *Int J Clin Exp Pathol.* 4 (5) : 476-495, 2011.
- 3) 土橋 洋: 細胞傷害と細胞増殖、シンプル病理学第6版 (笹野公伸、岡田保典、安井 弥 編)、南江堂、2010、5-14頁.
- 4) 土橋 洋: Apoptosis (腫瘍等). 病理と臨床 [増刊号]: 病理診断に役立つ分子生物学 (金井弥栄、

石川俊平、池田栄二編)、文光堂、2011、98-106頁。

(学会発表)

- 1) 土橋 洋、鈴木潮人、大井章史. Paradigm of kinase-driven pathway downstream of EGFR/Akt in human lung carcinomas. 第69回日本癌学会学術総会 2010年9月22日 大阪.
- 2) 土橋 洋、鈴木潮人、梶村春彦、山田茂樹、大井章史. 肺癌におけるエフェクター分子 Akt の活性化と遺伝子変化. 第100回日本病理学会総会 2011年4月28日 東京.

総合医学2

■ 外科

原著論文

- 1) Maeda T, Suzuki K, Togashi K, Nokubi M, Saito M, Tsujinaka S, Kamiyama H, Konishi F : Sessile serrated adenoma shares similar genetic and epigenetic features with microsatellite unstable colon cancer in a location-dependent manner. EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE, 2011. (DIO : 10. 3892/etm. 2011. 249)
- 2) 辻仲眞康、小西文雄、辻仲康伸 : 直腸瘤の治療. 外科治療 105 (1) 75-80, 2011.
- 3) Tanigawa N, Lee SW, Kimura T, Mori T, Uyama I, Nomura E, Okuda J, Konishi F : The Endoscopic surgical skill qualification system for gastric surgery in Japan. Asian Journal of Endoscopic Surgery4 (3) : 112-115, 2011.
- 4) Binh PNT, Soda K, Kawakami M : Mediterranean diet and polyamine intake -possible contribution of increased polyamine intake to inhibition of age-associated disease. Nutrition and Dietary Supplements : 1-7, 2011.
- 5) Tsujinaka S, Soda K, Kano Y, Konishi F : Spermine accelerates hypoxia-initiated cancer cell migration. Int J Oncol 38 : 305-312, 2011.
- 6) Soda K, Dobashi Y, Kano Y, Tsujinaka S, Chiba F : Increased polyamine intake prolongs murine longevity. 7th Asia Pacific Conference on Clinical Nutrition (APCCN2011). 2011.6.5-9. Bangkok Thailand
- 7) Soda K : Gross domestic product is associated with the amount and composition of food polyamines. 7th Asia Pacific Conference on Clinical Nutrition (APCCN2011). 2011.6.5-9. Bangkok Thailand.
- 8) Soda K : Mediterranean diet is associated with the increased amount of food polyamines. 7th Asia Pacific Conference on Clinical Nutrition (APCCN2011). 2011.6.5-9. Bangkok Thailand.
- 9) Soda K : Inverse association between food polyamine and CVD mortality -an ecological study-. 7th Asia Pacific Conference on Clinical Nutrition (APCCN2011). 2011.6.5-9. Bangkok Thailand.
- 10) 柿澤奈緒, 野田弘志, 加藤高晴, 神山英範, 遠山信幸, 野首光弘, 小西文雄 : 臍頭十二指腸切除術後の Segmental Arterial Mediolytic による多発仮性動脈瘤破裂の一例. 第36回日本外科系連合会 2011.6.16-17 浦安
- 11) 早田邦康 : ポリアミンが癌の転移におよぼす影響. 第20回日本癌病態治療研究会 2011.6.17-18 東京
- 12) 加納良彦, 早田邦康, 小西文雄 : ポリアミンによる抗腫瘍免疫機能抑制に関わる LFA-1発現抑制と遺伝子プロモーターのメチル化の変化. 第20回日本癌病態治療研究会 第20回日本癌病態治療研究会 2011.6.17-18 東京
- 13) 辻仲眞康, 早田邦康, 加納良彦, 小西文雄 : 低酸素およびポリアミン代謝によるメチル化の変化と大腸癌細胞の転移・浸潤能に関する検討. 第20回日本癌病態治療研究会 2011.6.17-18 東京
- 14) 中村 潤、野田弘志、渡部文昭、福井太郎、山田茂樹、小西文雄 : 副腎骨髄脂肪腫の1例. 第821回外科集談会 2011.6.25 千葉
- 15) 高田 理、清崎浩一、千葉文博、齊藤正昭、周東千緒、小西文雄 : 当科における残胃の癌の現状. 第66回日本消化器外科学会総会 2011.7.13-15 名古屋
- 16) 柿澤奈緒、野田弘志、加藤高晴、神山英範、遠山信幸、小西文雄 : ガストリノーの2例. 第66回日本消化器外科学会総会 2011.7.13-15 名古屋

学会発表

- 1) 福井太郎、岡田晋一郎、清崎浩一、高田 理、小西文雄、野首光弘 : 胃原発の異所性腺に嚢胞を来した一例. 第820回外科集談会 2011.3.26. 東京
- 2) Kawabata N, Mogi S, Tedzuka Y, Nagamine C, Namikawa A, Hasebe T, Honda H, Mitsuhashi M, Sato T, Soda K : A retrospective analysis to elucidate the background that affects the

- 14) 長谷川美美、清崎浩一、齊藤正昭、千葉文博、高田 理、小西文雄：早期胃癌の治療戦略. 第66回日本消化器外科学会総会 2011.7.13-15 名古屋
- 15) 神山英範、野田弘志、加藤高晴、遠山信幸、小西文雄：上腸間膜神経叢全周郭清と門脈管状切除再建を伴う臍頭十二指腸切除術. 第66回日本消化器外科学会総会 2011.7.13-15 名古屋
- 16) 武藤雄太、辻仲眞康、河村 裕、小西文雄、佐々木純一、桑原悠一、前田孝文：閉塞を伴右側大腸癌に対する治療方針と周術期治療成績に関する検討. 第66回日本消化器外科学会総会 2011.7.13-15 名古屋
- 17) 清崎浩一、周東千緒、長谷川美美、齊藤正昭、千葉文博、高田 理、吉田卓義、小西文雄、吉田行雄、石井咲織：当センターにおける胃癌の全人的医療への取り組み：診断から緩和医療まで. 第66回日本消化器外科学会総会 2011.7.13-15 名古屋
- 18) 辻仲眞康、河村 裕、小西文雄、佐々木純一、桑原悠一、前田孝文：潰瘍性大腸炎に対する外科手術成績と早期および晩期合併症に関する検討. 第66回日本消化器外科学会総会 2011.7.13-15 名古屋
- 19) 千葉文博、清崎浩一、周東千緒、齊藤正昭、高田理、吉田卓義、小西文雄：食道胃接合部癌の術式を考える. 第66回日本消化器外科学会総会 2011.7.13-15 名古屋
- 20) 佐々木純一、河村 裕、辻仲眞康、桑原悠一、溝上 賢、小西文雄：結腸癌術後管理において患者希望に応じた普通食からの食事提供は妥当か？第66回日本消化器外科学会総会 2011.7.13-15 名古屋
- 21) 野田弘志、神山英範、加藤高晴、遠山信幸、小西文雄：自己執刀100例の解析からみた臍頭十二指腸切除術後、GradeB、C臍慶の危険因子－手技の実際と工夫－. 第66回日本消化器外科学会総会 2011.7.13-15 名古屋
- 22) 加藤高晴、野田弘志、神山英範、遠山信幸、小西文雄：新規抗癌剤導入前後における大腸癌肝転移の切除成績の比較. 第66回日本消化器外科学会総会 2011.7.13-15 名古屋
- 23) 市田晃佑、辻仲眞康、河村 裕、小西文雄、武藤雄太、佐々木純一、桑原悠一、前田孝文：超高齢者大腸癌症例に対する腹腔鏡手術および開腹手術の周術期成績の比較検討. 第66回日本消化器外科学会総会 2011.7.13-15 名古屋
- 24) 齊藤正昭、清崎浩一、千葉文博、高田 理、吉田卓義、小西文雄：切除不能胃癌に対する Induction chemotherapy および Surgical intyervevtion の有用性の検討. 第66回日本消化器外科学会総会 2011.7.13-15 名古屋
- 25) 福井太郎、岡田晋一郎、高田 理、清崎浩一、小西文雄、土橋 洋：胃原発の孤立性線維性腫瘍の1例. 第315回日本消化器病学会関東支部例会 2011.7.2 東京
- 26) 早田邦康：地中海食は高ポリアミン食である - Ecological study -. 日本ポリアミン学会第2回年会 2011.7.27-28 宇都宮
- 27) 野田弘志、加藤高晴、遠山信幸、小西文雄：臍頭十二指腸切除周術期治療成績と hospital volume の関係. 第42回日本臍臓学会 2011.7.29-30 青森
- 28) 長谷川美美、野田弘志、加藤高晴、遠山信幸、宮谷博幸、吉田行雄、小西文雄：治療方針の決定に苦慮した分岐型 IPMN3例についての検討. 第42回日本臍臓学会 2011.7.29-30 青森
- 29) 柿澤奈緒、野田弘志、加藤高晴、浅野岳晴、宮谷博幸、小西文雄：臍癌術後補助化学療法 (GEM) 施行中に活性化したB型慢性肝炎の一例. 第42回日本臍臓学会 2011.7.29-30 青森
- 30) 加藤高晴、野田弘志、神山英範、遠山信幸、小西文雄：臍管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN) 患者に合併した多臓器癌の検討. 第42回日本臍臓学会 2011.7.29-30 青森
- 31) 蓬原一茂、関根 理、櫻木雅子、鈴木康次郎、小西文雄、長田 理、村山隆紀：甲状腺癌手術終了時塩酸ロピバカイン散布の安全性と効果の検討 (first report). 第23回日本内分泌外科学会総会 2011.7.7-8 東京
- 32) 辻仲眞康、富樫一智、小西文雄、森嶋 計、佐々木純一、宮倉安幸、堀江久永、河村 裕、安田是和：大腸 SM 癌のリンパ節転移予測における先進部の低分化胞巣および粘液化の意義. 第75回大腸癌研究会 2011.7.8 東京
- 33) 遠山信幸、小西文雄：抗凝固・抗血小板薬内服患者に対する鼠径部ヘルニア周術期管理とその成績. 第9回日本ヘルニア学会学術集会 2011.8.1-2 福岡
- 34) 岡田晋一郎、荒川 衛、七尾道子、大崎雅則、遠山信幸、小西文雄：4度再発した左鼠径ヘルニアに右鼠径ヘルニアと腹壁癒痕ヘルニアを合併した1症例. 第9回日本ヘルニア学会学術集会 2011.8.1-2 福岡
- 35) 柿澤奈緒、野田弘志、渡部文昭、加藤高晴、遠山信幸、小西文雄：外科専門研修2年目の臍頭十二指腸切除3例の執刀経験. 第38回日本臍切研究会 2011.8.26-27 久留米
- 36) 野田弘志、加藤高晴、遠山信幸、小西文雄：当科

における hospital volume の増加と術者集約による膵頭十二指腸切除術の周術期成績の変化から見た望ましい教育体制の検討. 第38回日本膵切研究会 2011.8.26-27 久留米

- 37) 市田晃佑、野田弘志、渡部文昭、加藤高晴、遠山信幸、小西文雄：多臓器浸潤右側大腸癌に対する en bloc pancreaticoduodenectomy and right hemicolectomy. 第38回日本膵切研究会 2011.8.26-27 久留米
- 38) 渡部文昭、野田弘志、加藤高晴、遠山信幸、小西文雄：膵頭十二指腸切除術における術前減黄の功罪－術前減黄処置と surgical site infection (SSI) の関連性の検討－. 第38回日本膵切研究会 2011.8.26-27 久留米
- 39) 蓬原一茂、関根 理、櫻木雅子、鈴木康治郎、小西文雄、尾本きよか、松永宏明、谷口信行：当院における造影超音波画像によるセンチネルリンパ節同定法の検討. 第19回日本乳癌学会学術総会 2011.9.2-3 仙台
- 40) 関根 理、蓬原一茂、櫻木雅子、鈴木康治郎、小西文雄、野首光弘、土橋 洋、山田茂樹、尾本きよか：当センターにおけるステレオガイド下マンモトーム生検の臨床及び病理学的検討. 第19回日本乳癌学会学術総会 2011.9.2-3 仙台
- 41) 鈴木康治郎、櫻木雅子、関根 理、蓬原一茂、小西文雄、山田茂樹：色素単独法センチネルリンパ節生検の腋窩リンパ節再発の検討 第19回日本乳癌学会学術総会 2011.9.2-3 仙台
- 42) 櫻木雅子、蓬原一茂、鈴木康治郎、関根 理、尾本きよか、山田茂樹、小西文雄：乳癌脳転移症例の検討. 第19回日本乳癌学会学術総会 2011.9.2-3 仙台
- 43) 深見友香、蓬原一茂、櫻木雅子、小西文雄：当院でのリンパ浮腫予防に対する作業療法士の取り組み. 第19回日本乳癌学会学術総会 2011.9.2-3 仙台

著書 総説

- 1) 河村 裕、小西文雄：腹腔鏡補助下大腸切除術. 外科治療 104 (6月増刊), 77-82 (611-616) 2011
- 2) 早田邦康：ポリアミンはアンチエイジング成分か. 医と食 3 (1) : 30-32 2011
- 3) 早田邦康：ポリアミン摂取量と食品摂取量－地中海食は高ポリアミン食である－. New Food Industry 53 (4) : 35-44 2011.
- 4) 早田邦康：最近の話題－ポリアミン－. W'Wave 17 (1) : 26-33 2011.
- 5) 早田邦康：研究課題「癌患者の免疫機能抑制機序

の解明（癌患者の血中で上昇するポリアミンと細胞性免疫機能との関係）と治療応用」. 平成19年度第21回埼玉県外科医会研究助成による研究成果－. 埼玉県外科医会誌 30 : 53-62 2011

■ 呼吸器外科

(論文)

- 1) Shibano T, Endo S, Kanai Y, Tetsuka K : Dangerous mediastinal basal pulmonary artery during left upper lobectomy. Interact Cardiovasc Thorac Surg 13 : 358-60, 2011
- 2) Tsubochi H, Kanai Y, Tezuka K, Watanabe Y, Koyama S, Nakano T, Isogami K, Endo S : Extended sleeve lobectomy for interlobar lymph node metastasis invading the bronchus from peripheral lung cancer. Gen Thorac Surg 59 : 515-7, 2011
- 3) 中野智之, 遠藤俊輔：胸腔鏡下肺区域切除術後に生じる不良肺例の検討 胸部外科 64 : 792-5, 2011
- 4) 手塚憲志, 遠藤俊輔, 手塚康裕, 蘇原泰則, 幸喜富, 屋代 隆：低酸素負荷時の肺内微小血管の動的解析－軟X線画像解析装置を用いて－ 呼吸 30 : 651-6, 2011
- 5) 手塚憲志, 遠藤俊輔, 柴野智毅, 峯岸健太郎, 眞木 充, 金井義彦ほか：胸郭出口部疾患に対する外科治療 日本頭頸部部外科学会誌 21 : 9-13, 2011
- 6) 手塚憲志, 金井義彦, 遠藤俊輔：白血病治療中にみられた前縦隔アスペルギルス症の1例 呼吸 30 : 730-1, 2011

(学会発表)

- 1) 福井太郎, 手塚憲志, 金井義彦, 市田晃佑, 眞木 充, 柴野智毅, 峯岸健太郎, 渡辺恭孝, 三輪千尋, 小山信一郎, 土橋 洋, 遠藤俊輔：左肺全摘術を回避し、左下葉+舌区管状切除術を施行した左下葉扁平上皮癌の1例 第138回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会 9月17日 東京

(その他)

- 1) 特別講演 遠藤俊輔：これからの呼吸器外科手術－縮小手術から拡大手術まで－第6回東北呼吸器外科手術手技研究会 2011年7月9日 仙台

■ 心臓血管外科

原著論文

- 1) 白石 学, 山口敦司, 由利康一, 根本一成, 内藤和寛, 野口権一郎, 安達秀雄: 虚血性心疾患を伴う Leriche 症候群に対する治療経験. 日本心臓血管外科学会雑誌 40 (3): 86-88 2011
- 2) Morita H, Misawa Y, Oki S, Saito T: Infection of Pacemaker Lead by Penicillin-resistant Streptococcus Pneumoniae. Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery. 17 (3): 313-315 2011
- 3) 白石 学, 村岡 新, 相澤 啓, 坂野康人, 上西祐一郎, 大木伸一, 斎藤 力, 三澤吉雄. 下行大動脈置換術後に発症した腹部臓器虚血に対するステント治療. 胸部外科 64 (10): 887-893 2011-9

学会発表

- 1) Yuri K, Nagano H, Yamaguchi A, Adachi H: Usefulness of fenestrated stent graft for thoracic aortic aneurysms. The 7th Japan-Korea joint meeting for Vascular Surgery April 21st 2011. 第39回日本血管外科学会学術総会 2011年4月20-22日 沖縄
- 2) 由利康一, 長野博司, 山口敦司, 安達秀雄: 胸部ステントグラフト (TEVAR) の際の血管外科手術手技の重要性. 第17回日本血管内治療学会総会 2011年6月10-11日 沖縄
- 3) 荒川 衛, 山口敦司, 岡村 誉, 武部 学, 安達秀雄: 後壁梗塞に伴う左室破裂後に乳頭筋断裂による僧帽弁逆流をきたした1例. 第156回日本胸部外科学会関東甲信越地方会 2011年6月4日 都市センターホテル. 第156回日本胸部外科学会関東甲信越地方会要旨集 p8
- 4) 竹内絃子, 由利康一, 荒川 衛, 橋本和憲, 嶋田直洋, 田島 泰, 長野博司, 高橋雅弥, 小日向聡行, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄: 下行大動脈瘤に対してステントグラフト内挿術後に残存遠位弓部大動脈瘤が急速に拡大した1例. 第156回日本胸部外科学会関東甲信越地方会 2011年6月4日 都市センターホテル. 第156回日本胸部外科学会関東甲信越地方会要旨集 p9
- 5) 田村 敦, 内藤和寛, 野中崇央: 総腸骨動脈根部完全閉塞の急性動脈閉塞から MNMS を発症した1症例. さいたま-神奈川症例検討会 2011年6月11日 横浜
- 6) 板垣 翔, 白水御代, 白杉岳洋, 伊藤 智, 田中正史: 大動脈狭窄、頸部分枝起始異常、下行大動脈瘤及び大動脈弁狭窄症に対し1期的手術を行っ

た1例. さいたま-神奈川症例検討会 2011年6月11日 横浜

- 7) 野村陽平, 堀 大治郎, 野口権一郎, 田中弘之: 胸腹部大動脈人工血管置換後吻合部巨大仮性動脈瘤の1例. さいたま-神奈川症例検討会 2011年6月11日 横浜
- 8) 前田新介, 嶋田直洋, 田島 泰, 佐藤健一郎, 小日向聡行, 長野博司, 高橋雅弥, 森田英幹, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄: 術前CSFドレナージを施行し脳出血を合併した胸腹部大動脈瘤の1手術例. さいたま-神奈川症例検討会 2011年6月11日 横浜
- 9) 小林祐介, 森田英幹, 白石 学, 荒川 衛, 野村陽平, 柴野智毅, 山口敦司, 安達秀雄: 食道穿孔に関連した感染性胸部大動脈瘤切迫破裂の1例. 第2回東海-さいたま心臓血管外科サマーセミナー 2011年7月9日 鎌倉
- 10) 横山野武, 荒川 衛: 高度頸動脈狭窄を有する虚血性心疾患に対しIABP補助下で頸動脈内膜摘除を先行した1例. 第2回東海-さいたま心臓血管外科サマーセミナー 2011年7月9日 鎌倉
- 11) 白杉岳洋, 田中正史, 伊藤 智, 板垣 翔, 白水御代: 長期透析患者の高度僧帽弁輪石灰化病変に対する僧帽弁置換術の工夫~CUSAによる石灰化除去とTranslocation MVR. 第2回東海-さいたま心臓血管外科サマーセミナー 2011年7月9日 鎌倉
- 12) 野中崇央, 内藤和寛, 田村 敦: PTA後に再度増悪した下肢虚血に対しdistal bypassを施行し救済し得た1例. 第2回東海-さいたま心臓血管外科サマーセミナー 2011年7月9日 鎌倉
- 13) 荒川 衛: 重症心不全に対する補助人工心臓治療. 第2回東海-さいたま心臓血管外科サマーセミナー 2011年7月9日 鎌倉
- 14) 竹内太郎, 白石 学, 木村知恵里: 外傷性大動脈解離に対して保存的加療を選択した1例. 第2回東海-さいたま心臓血管外科サマーセミナー 2011年7月9日 鎌倉
- 15) 野村陽平, 堀 大治郎, 野口 権一郎, 田中弘之: 胸骨正中切開+前側方開胸により上行弓部下大動脈置換術を施行した1例. 第2回東海-さいたま心臓血管外科サマーセミナー 2011年7月9日 鎌倉
- 16) 山口敦司, 由利康一, 内藤和寛, 森田英幹, 伊藤智, 長野博司, 岡村 誉, 白石 学, 武部 学, 野中崇央, 野村陽平, 安達秀雄: On pump/Off pump冠動脈バイパス術の早期・遠隔期成績. 第16回日本冠動脈外科学会学術大会 2011年7月14

日 松本市

- 17) 森田英幹, 山口敦司, 岡村 誉, 伊藤 智, 内藤和寛, 由利康一, 安達秀雄: Off pump CABG における縦隔炎の予防-サージセルニューニットの有用性について-。第16回日本冠動脈外科学会学術大会 2011年7月14日 松本市
- 18) 板垣 翔, 山口敦司, 岡村 誉, 伊藤 智, 森田英幹, 内藤和寛, 由利康一, 安達秀雄: CABG 術後再手術における治療戦略。第16回日本冠動脈外科学会学術大会 2011年7月14日 松本市
- 19) 由利康一, 高橋雅弥, 橋本和憲, 安達秀雄: 胸部大動脈瘤に対する Zenith TX2 の使用経験。第11回血管外科アカデミー 2011年8月27日 青森市
- 20) 高橋雅弥, 田島 泰, 由利康一, 山口敦司, 安達秀雄: 巨大肝動脈瘤に対して瘤切除、血行再建をおこなった1例。第11回血管外科アカデミー 2011年8月27日 青森市
- 21) 橋本和憲, 由利康一, 松永理絵, 長野博司, 山口敦司, 安達秀雄: EVAR 術中総腸骨動脈破裂の1例。第11回血管外科アカデミー 2011年8月27日 青森市

その他

- 1) 安達秀雄 特別講演
大動脈疾患の治療 == 最近の進歩 ==
第757回松本医師会生涯教育講座 2011.7.28 松本市医師会館

著書 総説

- 1) 安達秀雄: 低体温と大血管症例の体外循環-体外循環の実際-。教育セミナーテキスト日本体外循環技術医学会 June 4-5, 2011 横浜. JaSECT Seminar Text No.27: 34-38, 2011
- 2) 安達秀雄: 急性大動脈解離・大動脈瘤の診療の落とし穴、今後の課題: 座談会 桃原哲也, 吉野秀朗. 特集 大動脈疾患の最新知見. 最新医学社 最新医学 66 (7): 1552-1566, 2011
- 3) 安達秀雄: 下行置換術後の胸腹部大動脈置換術-1枚のシェーマ-. 胸部外科 64 (10): 894 2011-9

■ 整形外科

学会発表

- 1) 河野博隆, 大隈知威, 小倉浩一, 五嶋孝博, 篠田裕介, 津田祐輔, 秋山 達, 今西淳悟, 宮川清, 中村耕三: 骨・軟部腫瘍の診療における骨・軟部 cancer board (CB) の意義-診療科横断的

な標準的医療の確立に向けて-。第84回日本整形外科学会学術総会, 2011/5/12-15, 横浜, 日整会誌85, S410

- 2) 小倉浩一, 大隈知威, 五嶋孝博, 篠田裕介, 津田祐輔, 秋山 達, 今西淳悟, 中村耕三, 河野博隆: 骨・軟部肉腫の多発肺転移に対する放射線治療の有用性。第84回日本整形外科学会学術総会, 2011/5/12-15, 横浜, 日整会誌85, S763
- 3) 松井健太郎, 井口浩一, 福島憲治, 大饗和憲, 上田祐輔, 岡田寛之: 開放骨折初期治療における局所陰圧閉鎖療法 (NPWT) の検討。第37回日本骨折治療学会, 2011.7.1-2, 横浜市, 骨折33, Supplement S156
- 4) 上田祐輔, 井口浩一, 福島憲治, 善家雄吉, 大饗和憲, 松井健太郎, 岡田寛之: 脛骨遠位部骨折に対して PERI-LOC Plate を用いた経験。第37回日本骨折治療学会, 2011.7.1-2, 横浜市, 骨折33, Supplement S162
- 5) 井口浩一, 福島憲治, 大饗和憲, 松井健太郎, 上田祐輔, 岡田寛之, 新藤正輝, 黒住健人, 王耀東, 中山雄平, 阿部光伸, 北田真平, 宮下昌大, 山本 巖, 山田 明: 胸腰椎移行部骨折に対する後方固定-椎体形成の意義について-。第37回日本骨折治療学会, 2011.7.1-2, 横浜市, 骨折33, Supplement S199
- 6) 秋山 達, Jonathan Clark, 遠藤 実, 税田和夫, Peter Choong: 片側骨盤切除術12例の臨床成績の解析による機能的予後決定因子の検討。第44回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2011/07/14-15, 京都
- 7) 小倉浩一, 山本愛一郎, 秋山 達, 平田 真, 今西淳悟, 篠田裕介, 大隈知威, 五嶋孝博, 津田祐輔, 河野博隆, 中村耕三: 高悪性度非円形細胞軟部肉腫に対する MAID 変法による補助化学療法の有効性。第44回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 2011年7月14日-15日, 京都
- 8) 大隈知威, 河野博隆, 秋山 達, 小倉浩一, 五嶋孝博, 篠田裕介, 津田祐輔, 中村耕三: 下腿に発生した soft tissue perineurioma の一例。第44回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 2011年7月14日-15日, 京都
- 9) 小倉浩一, 篠田裕介, 秋山 達, 大隈知威, 牛久哲男, 五嶋孝博, 津田祐輔, 河野博隆, 中村耕三: 大腿骨遠位部に発生した骨膜性骨芽細胞種の1例。第44回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 2011年7月14日-15日, 京都
- 10) Toru Akiyama, Jonathan Clark, Minoru Endo, Kazuo Saita, Peter F.M. Choong: The functional

prognosis factor of internal hemipelvectomy ; presentation with our 12 cases. SICOT (Société Internationale de Chirurgie Orthopédique et de Traumatologie), 6-9 September 2011, Prague, Czech Republic

- 11) Toru Akiyama, Jonathan Clark, Peter F.M. Choong : The direct effects of RANK-Fc against osteosarcoma is provided by ERK inhibition. the 16th general meeting of ISOLS (International Society Of Limb Salvage), 2011年 9 月15日 - 18 日, Beijing, China
- 12) Toru Akiyama, Jonathan Clark, Minoru Endo, Kazuo Saita, Peter F.M. Choong : The functional prognosis factor of internal hemipelvectomy ; a presentation of our 12 cases. the 16th general meeting of ISOLS (International Society Of Limb Salvage), 2011年 9 月15日 - 18日, Beijing, China

原著論文

- 1) 税田和夫、井上泰一、秋山 達、遠藤照頭、遠藤実、久光 愛、神田翔太郎：臥位と立位の腰椎 X 線による腰椎変性側弯に対する固定術の適応. J. Spine Res. 2, 1162-1165, 2011

その他

- 1) 税田和夫：骨粗鬆症性椎体骨折診断のピットフォールから手術まで - 油断できない高齢者の腰痛 -、神奈川県臨床整形外科医会第118回学術講演会、2011/07/23、横浜

■ 耳鼻科

<原著論文>

- 1) Shinnabe, A., Hara, M., Matsuzawa, S., Hasegawa, M., Kodama, K., Kanazawa, H., Yoshida, N., Iino, Y. : Relationship between postoperative aeration around the stapes and postoperative hearing outcome after canal wall down tympanoplasty with canal reconstruction for cholesteatoma. Otol Neurotol, 2011.
- 2) 原 真理子、長谷川雅世、松澤真吾、児玉 梢、新鍋晶浩、金沢弘美、吉田尚弘、飯野ゆき子：硬化性病変を合併した真珠腫性中耳炎の検討. Otol Jpn21 (3) : 222-26, 2011.

<学会運営>

- 1) 第6回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会、会長 飯野ゆき子、目的 - 小児耳鼻咽喉科領

域の進歩、発展ならびに普及をはかると同時に、会員の学術的知識および医療の進歩とともに、会員の親睦と医道の向上を目的とする。2011年 6 月 16-17日、大宮ソニックシティ、さいたま市

<学会発表>

- 1) 原 真理子、松澤真吾、長谷川雅世、児玉 梢、新鍋晶浩、金沢弘美、吉田尚弘、飯野ゆき子：当院における小児慢性穿孔性中耳炎の検討. 第6回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会、2011年 6 月16-17日, pp105, さいたま市
- 2) 長谷川雅世、笹村佳美、市村恵一：小児耳下腺癌の1例. 6回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会、2011年 6 月16-17日, pp85, さいたま市
- 3) 児玉 梢、原 真理子、長谷川雅世、新鍋晶浩、金沢弘美、吉田尚弘、飯野ゆき子：Open mastoid 術後耳に対する鼓室形成術. 第108回日耳鼻埼玉県地方部会学術講演会、2011年 6 月19 日, pp3, さいたま市
- 4) 飯野ゆき子：「喘息の修飾因子をめぐって」合併症 (1) 副鼻腔炎／中耳炎. 第31回六甲カンファレンス、2011年 7 月30日, 神戸
- 5) 飯野ゆき子：小児急性中耳炎診療ガイドライン 2009. 第114回日本小児科学会学術集会. 2011年 8 月12-14日, 東京
- 6) 飯野ゆき子：“上気道感染症のガイドライン”小児急性中耳炎診療ガイドライン. 第41回日本耳鼻咽喉科感染症研究会、2011年 9 月 2 - 3 日, pp32, 東京
- 7) Iino, Y. : Effectiveness of Macrolide Therapy for Chronic Rhinosinusitis. IRS & ISIAN 2011, Japan, Sep. 20-23.
- 8) Yoshida, N., Kanazawa, H., Iino, Y., Sugawara, M., Onodera, A. : Free Papers14, Surgical Outcome of Powered Endoscopic Dacryocystorhinostomy with Radiowave Instruments. IRS & ISIAN 2011, Japan, Sep. 20-23.
- 9) Ota, Y., Yamada, C., Takizawa, K., Sakata, A., Kanazawa, H., Iino, Y. : Free Papers87, Site-Specific Differences in CT Findings, Intraoperative Macroscopic Findings and Histological Findings in Patients with Eosinophilic Sinusitis. IRS & ISIAN 2011, Japan, Sep. 20-23.
- 10) Kanazawa, H., Matsuzawa, S., Hara, M., Kodama, K., Shinnabe, A., Yoshida, N., Iino, Y. : Poster Discussion 2, The Condition of Eosinophilic Otitis Media after Endoscopic Sinus Surgery for Eosinophilic Chronic Rhinosinusitis. IRS &

ISIAN 2011, Japan, Sep. 20-23.

<その他>

- 1) 原 真理子：教育講演「好酸球形副鼻腔炎に対するオマリズマブの使用経験」, 第7回埼玉耳鼻咽喉科感染症・アレルギー研究会, 2011年9月15日, さいたま市.

<著書・総説>

- 1) 星野志織、飯野ゆき子：IV. 耳鼻咽喉の異常
2. 耳痛. 総合臨牀第60巻増刊 永井書店, 198-200, 2011.
- 2) 飯野ゆき子：耳鼻咽喉科領域のウイルス・細菌・真菌感染症治療戦略－外耳・中耳真菌症. ENTON131：8-12, 2011.

■ 眼科

[学会発表・講演会・研究会]

原著論文

- 1) Kinoshita N, Kakehashi A, Dobashi Y, Ono R, Toyoda F, Kambara C, Yamagami H, Kitazume Y, Kobayashi E, Osakabe Y, Kudo M, Kawakami M, Kanazawa Y : Effects of Topical Nipradilol on Early Diabetic Retinopathy in SDT Rats. The Open Diabetes Journal. (in press)
- 2) Toyoda F, Kakehashi A, Hashimoto K, Kinoshita N, Kambara C, Yamagami H, Tamemoto H, Ishikawa S, Dobashi Y, Kawakami M, Kanazawa Y : Accumulation of AGEs and VEGF in Eyes of SDT Rats. The Open Diabetes Journal. (in press)
- 3) Toyoda F, Kakehashi A, Ohta A, Kinoshita N, Kambara C, Yamagami H, Tamemoto H, Ueba H, Dobashi Y, Ishikawa S, Kawakami M, Kanazawa Y : Prevention of Proliferative Diabetic Retinopathy and Cataract in SDT Rats with Aminoguanidine, an Anti-Advanced Glycation End Product Agent. The Open Diabetes Journal. (in press)
- 4) Kakehashi A, Takezawa M, Toyoda F, Kinoshita N, Kambara C, Yamagami H, Kato N, Ishikawa S, Kawakami M, Kanazawa Y : Aldose Reductase Inhibitor Fidarestat Prevents Diabetic Ocular Complications in Spontaneously Diabetic Torii Rats. The Open Diabetes Journal. (in press)
- 5) Takezawa M, Tetsuka S, Kakehashi A : Tangential vitreous traction : a possible mechanism of development of cystoids macular edema in retinitis pigmentosa. Clin Ophthalmol

5 : 245-248, 2011

- 6) Takezawa M, Toyoda F, Kambara C, Yamagami H, Kakehashi A : Clarifying the mechanism of idiopathic macular hole development in fellow eyes using spectral-domain optical coherence tomography. Clin Ophthalmol 5 : 101-108, 2011

学会発表

- 1) 木下 望、太田有夕美、豊田文彦、神原千浦、山上博子、梯 彰弘：鈍針と粘弾性物質を用いた鈍的経前房ニードリングによる早期濾過胞再建術. 第34回日本眼科手術学会、2011年1月29日、京都市
- 2) A. Kakehashi, A.Ohta, F. Toyoda, N. Kinoshita, H. Yamagami : Relation Between Variations In Posterior Vitreous Detachments And Visual Prognoses In Epiretinal Membranes : 2011 ARVO Annual Meeting, May01-May05, 2011, Fortlauderdale, Florida

その他

- 1) 梯 彰弘：糖尿病網膜症の予防と治療. 第5回生活習慣病懇話会, 2011年2月10日, 高崎市
- 2) 梯 彰弘：後部硝子体剥離に関連する網膜疾患. 札幌眼科集談会, 2011年3月5日, 札幌市
- 3) 木下 望、田中克明、太田有夕美、豊田文彦、山上博子、梯 彰弘：広角眼底観察システム Resight[®] の使用経験. 第24回埼玉県眼科手術談話会、2011年7月3日、さいたま市
- 4) 梯 彰弘：糖尿病網膜症治療の最前線. 第6回埼玉県眼科周術期研究会, 2011年8月20日, さいたま市

■ 産婦人科

学会発表

- 1) 今野 良：【特別講演】世界標準の子宮頸がん予防－検診とHPVワクチン－. 第124回鹿児島産科婦人科学会学術集会 第114回鹿児島産婦人科医会, 2011年2月5日, 鹿児島.
- 2) 今野 良：【特別講演】HPVワクチン時代の子宮頸がん検診. 第36回日本臨床細胞学会広島県支部学術集会, 2011年2月12日, 広島.
- 3) 今野 良：【特別講演】子供と保護者のための健康教育～子宮頸がんは予防の時代. 第11回思春期診療研究会プログラム, 2011年4月23日, 大阪.

著書・総説

- 1) 今野 良：ヒトパピローマウイルス. 小児感染症

学 改訂第2版, 岡部信彦(編), 診断と治療社, 444-451, 2011.

- 2) 今野 良. 子宮頸がん予防～HPVワクチンのメカニズムと接種の根拠. 蕨戸田医師会報, 132, 35, 2011.
- 3) 今野 良. 新しい時代の子宮頸がん予防～HPVワクチンと検診～. 岡山県医師会報, 1311, 294-298, 2011.
- 4) 今野 良, 小西 宏. 検診無料クーポンによる受信者の動向. 化療ニュース, 婦人科悪性腫瘍研究機構, Vol.20 (1), 2-3, 2011.
- 5) 林 由梨, 満下淳地, 根津幸穂, 今野 良. ヒトパピローマウイルスワクチンによる子宮頸がん予防. 日本臨牀, 日本臨牀社, 69 (9), 1594-1598, 2011.
- 6) 満下淳地, 林 由梨, 根津幸穂, 今野 良: 子宮頸癌とHPVワクチン. 産婦人科治療102 (6), 984-988, 2011.

学会発表

- 1) 林 由梨, 坂田麻理子ほか: 早産予防に配慮した子宮頸部円錐切除術について. 第47回日本周産期・新生児学会学術集会, 2011年7月10日-12日、札幌
- 2) 大井朝子, 根津幸穂, 浅尾有紀, 林 由梨, 平嶋洋斗, 伊藤浄樹, 満下淳地, 芝田 恵, 堀内功, 坂田麻理子, 今野 良: 腹腔鏡下子宮全摘出術の術式別手術成績. 第51回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2011年8月6日、大阪
- 3) 坂田麻理子, 芝田 恵, 林 由梨, 平嶋洋斗, 浅尾有紀, 廣瀬典子, 澁谷裕美, 根津幸穂, 今野 良: 地域周産期センター新規オープンの課題-胎児異常3例を通しての考察-. 第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2011年8月6日、大阪
- 4) 芝田 恵, 坂田麻理子, 林 由梨, 平嶋洋斗, 浅尾有紀, 廣瀬典子, 澁谷裕美, 根津幸穂, 今野 良: IgA腎症合併妊娠6例の後方視的検討. 第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2011年8月6日、大阪
- 5) 林 由梨, 坂田麻理子, 芝田 恵, 平嶋洋斗, 浅尾有紀, 廣瀬典子, 澁谷裕美, 根津幸穂, 伊藤雄二, 今野 良: 妊娠中に経肛門的手術を行い生児を得た直腸癌の一例. 第63回日本産科婦人科学会学術講演会, 2011年8月29日-31日、大阪
- 6) 浅尾有紀, 根津幸穂, 平嶋洋斗, 芝田 恵, 林由梨, 廣瀬典子, 澁谷裕美, 坂田麻理子, 今野 良: 化学放射線併用療法が奏功した子宮体癌仙骨転移例. 第63回日本産科婦人科学会学術講演会,

2011年8月29日-31日、大阪

- 7) 満下淳地, 今野 良: 子宮頸がん検診全成人女性無料化の意義と効果. 第63回日本産科婦人科学会学術講演会, 2011年8月29日-31日、大阪
- 8) S. Netsu, K. Odagiri, H. Fujiwara, J. Mitsushita, M. Sakata, R. Konno: Low level of serum eicosapentaenoic acid in endometriosis patients with severe pain. 11th World Congress on Endometriosis, 4-7 Sep 2011, Montpellier France

■ 歯科口腔外科

学会発表

- 1) 中山竜司, 丹波嘉一郎, 渡辺秀紀, 岡田成生, 鹿志村 圭, 上野泰宏, 仙名あかね, 宮城徳人, 伊藤弘人, 野口忠秀, 小佐野仁志, 神部芳則, 草間幹夫: 顎口腔領域悪性腫瘍患者の終末期症状コントロールに関する検討. 第25回栃木県緩和ケア研究会, 国際医療福祉大学病院, 2011年9月11日.
- 2) 野口忠秀, 土屋欣之, 大谷津幸生, 岡田成生, 中山竜司, 宮城徳人, 篠崎泰久, 伊藤弘人, 小佐野仁志, 神部芳則, 大岩伊知郎, 草間幹夫: 下顎区域切除後に Bare Bone Graft を用いた再建例の検討. その2: QOL 評価を含めて. 第56回(社)日本口腔外科学会総会学術大会, 大阪, 2011年10月21-23日.
- 3) 野口忠秀, 小佐野仁志, 神部芳則, 草間幹夫: 口腔癌患者における術後の口腔機能の実態と評価. 第56回(社)日本口腔外科学会総会学術大会, 大阪, 2011年10月21-23日.
- 4) 大橋 望, 早坂純一, 木村希美, 室井美佳, 槐節子, 秋元留美, 林 宏美, 小澤通子, 佐瀬美和子, 土屋欣之, 伊藤弘人, 小佐野仁志, 神部芳則, 草間幹夫: 大田原赤十字病院における全身麻酔手術前の歯科衛生士による口腔ケアの取り組み. 第56回(社)日本口腔外科学会総会学術大会, 大阪, 2011年10月21-23日.
- 5) 小佐野仁志, 岡本瑠珠, 中井雄一郎, 磯田智代, 草間幹夫: 左側下顎の疼痛を契機として聴神経鞘腫が診断された1例. 第56回(社)日本口腔外科学会総会学術大会, 大阪, 2011年10月21-23日.

その他

- 1) 小佐野仁志: 講演; 口腔ケアの基本と実際. 第9回口腔ケア研修会, (地域社会振興財団), 自治医大, 2011年9月14日.
- 2) 小佐野仁志, 鈴木美佳: 講演, 造血幹細胞移植患者に対する口腔ケア. 病棟看護師との連携の試

み. 第9回口腔ケア研修会, (地域社会振興財団),
自治医大, 2011年9月15日.

編集後記

今回の発行にあたりましては、大変お忙しい中、菅原先生をはじめ多くの先生方から投稿いただきまして、ご協力ありがとうございました。

まだまだ残暑は続いておりますが、夏から秋へ季節は移りつつあるようで、朝夕は随分と過ごしやすくなりました。

でも、こんな季節に体調を崩してしまう人が多いようですので、気をつけていただきたい。季節の変わり目だから体調を崩すのではなく、日ごろの生活や、ストレス、食生活の乱れなど様々な要因に気温の変化が加わって、症状が表れやすくなる時期なのだそうです。

今の時期、美味しいものが沢山あり、特に、秋の味覚である穀類、イモ類、栗など糖質が多くエネルギーになるもの、また、ビタミン、ミネラル等を豊富に含む、旬の野菜、果物などを取り、十分な睡眠を心がけて体調を崩さないよう自己管理をしたいものである。

しかし、体に良いからと食べ過ぎるのも禁物。何でも適量を心がけて、旬の恵みを美味しく、楽しんでみたいものである。「加減」は難しいですね。

(S)

自治医科大学附属さいたま医療センター 研究だより 第29号

発行日 平成23年10月21日
発行 自治医科大学附属さいたま医療センター
発行責任者 センター長 川上 正舒
編集 事務部 総務課
BSL 宿舎・研修施設事務室
〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町1-847
TEL. 048-647-2111
FAX. 048-648-5166
題字 川上 正舒 センター長

印刷 第一印刷(株)